

令和6年度第2回岡崎市観光基本計画推進委員会 会議録

- 1 日 時 令和7年2月21日（金）15時30分～17時
- 2 場 所 岡崎市役所分館3階大会議室
- 3 委員（敬称略）
出席者：高橋一夫、岩月幹雄、藤井克弘、八木則行、竹内博剛、西尾孝志、
加藤英紀、平岩亮人、市川文勇、中林菜穂子、平野精一、香西佑香
欠席者：花村元気
- 4 オブザーバー（敬称略）
出席者：丹羽邦夫、靱井泰晴
欠席者：なし
- 5 事務局
経済振興部長：鈴木洋人
観光推進課長：二村和孝、同副課長：黒川憲子、
同課観光推進係長：清水里美、同主任主査：杉浦美穂、同主事：山本雄大
- 6 関係者
商工労政課長：水上順司、文化振興課長：山田能正、
スポーツ振興課長：木和田佐奈枝、まちづくり推進課長：浅井恒之
- 7 議題
(1) 令和7年度版観光白書について
(2) 令和7年度観光事業について
(4) その他
- 8 傍聴者
2名
- 9 議事要旨
—開会—
議題1 令和7年度版観光白書について
資料1、資料2に基づき、事務局から次のとおり説明。

- ・令和7年度版岡崎市観光白書について、以下のとおり変更をする。
- (1) 掲載年度を拡大し、経年変化を分かりやすいようにする。
- (2) 基準値や目標値等の視認性を向上させ、達成状況を分かりやすくする。
- (3) 第2次観光基本計画開始に伴い、計画概要と重点事業の実施状況を掲載する。
- (4) 掲載内容を見直し、おもてなしキャラバン隊等の掲載をとりやめ、市が注力しているフィルムコミッション事業を掲載する。
- (5) 目標設定のないデータについても、基準値を算出し、関連項目と動向の比較ができるようにする。

【委員の意見】

○令和5年度の月別観光施設入込客数について、6月、7月は他の月に比べ、極端に少なくなっているが、原因等は分析できているか。

事務局) 梅雨の時期のため、観光客も減っていると考えられる。

○全項目において、目標値を掲載できないか。

事務局) 第2次観光基本計画で目標値を設定していない項目については、基準値のみを算出し記載する。

委員長) 目標値は今後の達成度により変更していく可能性があるのか。

事務局) 令和5年度は大河特需で観光施設年間入込客数が大幅に増加しているが、今年度は減ると推測している。第2次観光基本計画は、令和12年度までの長期計画であるため、中間などタイミングを見計らって検討していきたい。

○アフター大河をどうするか考えるべきで、目標値を下げて士気が下がるようなことは避けたい。

○観光入込客数の月別データを早めに確認したい。自施設と他施設を比較し、次の施策に活かすことが大事だと考えている。

委員長) コロナ禍など過去のデータとの比較は意味がなく、むしろ直近や今後の予約状況データを把握し、施策を打ちたいと考える事業者もいる。城崎温泉がある豊岡市では、システムと連携させることで予約状況がリアルタイムで入ってくるようになっており、そのデータを基に次の施策を考えることができる。個人情報等の扱いには注意が必要だが、事業者のニーズに沿ったデータの提供が必要だ。

○観光白書の変更により、コロナ禍や大河の特需があつての経年変化や、基準値・目標値の表記による現状把握などが容易になると思う。

○岡崎おもてなしキャラバン隊について、観光協会の自主事業に変更になったことを理由に観光白書から掲載を取りやめるとのことだが、市の観光を俯瞰して見る上で必要か否かで判断した方がよい。

○来訪者満足度は非常に大事な項目であるため、経年の変化を掲載した方がよい。オーバーツーリズム問題で受け入れ能力にも限界があるため、来訪者が増加し続けることがよいとは限らない。来る人が減少しても、満足度が向上していれば問題ないと思う。

委員長) 行政が創出する価値は何かを考えたときに、満足度がその筆頭だと思う。来訪者満足度の経年の変化は、行政の施策効果を計るうえで、非常に重要である。

委員長) 来年度、観光庁のDMOへの評価基準が大きく変わる。その変更点の一つとして、観光消費により、域内調達がどれだけ図られたかという項目ができる。観光振興をする上では、来訪者満足度だけではなく、地域の観光事業者の満足度も向上させることが重要になる。

○DMOは、自主的、自立的な組織だが、自治体の観光振興計画の枠組み等に位置付けることが望ましいとされる。今後、議論していけるとよい。

○ホームページアクセス統計について、年代別、性別、流入経路別など、より細かなデータを掲載できるとよい。また、来訪経験者アンケートについて、不満だった点、改善が必要だと思う点としてレストランやカフェが挙げられているが、具体的に何が不満なのか分かるとよい。

議題2 令和7年度観光事業について

資料3に基づき、事務局から次のとおり説明。

- ・桜まつり、家康行列、将棋まつりについて、昨年度からの変更点等を説明。
- ・その他実施予定の施策の概要を説明。

【委員の意見等】

○温暖化のせいで桜の開花が早まっている。今年度の桜まつり期間は3月26日から4月6日とのことだが、1週間早めたほうがよい。また、家康行列についても、桜の開花に合わせて開催するのであれば、同様に1週間早めた方がよい。

事務局) 昨年までの開花状況と、今年の開花予測に基づいて、桜まつり期間を決めている。交通対策の計画等、準備に時間を要するため、開催時期は早めに決定する必要がある。気候など調整ができない外部要因がある中で、実際の開花状況に合わせて開催するのが理想ではあるが、早めに開催時期を決定する必要があることをご理解いただきたい。家康行列については、桜に合わせた開催がよいと考えている。

○今年の家康行列の出陣式は大樹寺で行う。また、家康公の命日である4月17日には、家康公の法要を行う。どちらも、多くの方にお越しいただきたい。

○乙川の河津桜は、3月初旬から中旬に開花しており、非常に早い。一方で、桜まつり会場周辺の桜は、ソメイヨシノで、3月末が開花時期である。昨年は、インドネシア系のインフルエンサーが河津桜を取り上げたことにより、東南アジアの方が多く見に来られた。外国人の方などは、桜の違いを分かっていないと思うため、説明があればよい。また、桜の開花状況を、観光公式サイトおでかけナビで更新するのはすごくよい取り組みだと思う。非常に役立っている。

○出身地が岡崎市ではなく土地勘がない立場の意見として、「偉人を迎える岡崎めぐり」のカードについて、カード内もしくはQRコードのリンク先webページ内で、各施設の駐車場の有無を記載してほしい。

○宿泊事業者の立場で令和6年度を振り返ると、11月の宿泊者数が例年と比較して非常に多かった。おそらく、バレーボールチームの試合や、ラリーが要因であると捉えている。ジェイテクトのバレーボールチームのホームタウンとなり、2試合連日で試合が行われると、宿泊者数も増加する。その宿泊者が観光をしてくれるとよい。

スポーツ振興課長) ジェイテクトのバレーボールチームは、土日の連日で試合を行うため、多数の方が宿泊してくれているのは、当課実施のアンケートでも把握している。ジェイテクト実施のアンケートは、回答者属性がより詳細に分かるので、いろいろと分析できるのではないかと思う。事業者にも提供しながら今後の方策を検討したい。また、岡崎市観光協会と協力し、ジェイテクトの試合チケット付き宿泊プランを販売し手ごたえがあったため、今後も継続していきたい。

○来場者アンケートについて、施策効果を計るうえで、非常に重要なことだと思う。事業者が儲けることで市民満足にも繋がる。モニタリングできる形で事業者がデータを提供し、イベントと売り上げの関係などを分析して施策効果の検証や改善ができるようにすることが必要だ。

○秋の三井アウトレットパーク開業について、滞在時間は長くても2～3時間ほどだと思う。遠くから来た人が、アウトレットパークでショッピングした後に、市内を観光できるよう施策を行ってほしい。

議題4 その他

資料（市民満足度重要度）に基づいて事務局から次のとおり説明。

- ・市民意識調査の概要について説明。
- ・「観光に対する市民の満足度」では、「おおむね満足」と評価した人が令和3年度調査と比較し、14ポイントほど伸びている。

- ・市民の「観光重要度意識」も令和3年度調査と比較し、16ポイントほど伸びている。